KIMOTO

2026年３月期 決算補足資料

株式会社 き も と

2026年４月24日

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

1　2026年３月期 決算について

2　高機能材料事業

3　デジタルツイン事業

4　第６次中期経営計画進捗

5　会社概要

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

2026年３月期実績　前年比［連結］

■通信機器向けは上期集中の反動で下期は低調ながら、新機種採用等により通期で収益に貢献。電子部品製造工程向けは堅調に推移。一方、輸送機器向けやバッテリー関連は低迷したものの、産業機器向けは順調に伸長し売上を支えました。

単位：百万円

	2026年３月期 通期 予想	2026年３月期 通期	2025年３月期 通期	増減	増減率(%)
売　上　高	10,700	**10,546**	11,294	▲ 748	▲ 6.6
売上総利益	-	**4,107**	4,401	▲ 293	▲ 6.7
販売管理費	-	**3,043**	3,061	▲ 17	▲ 0.6
営業利益	1,100	**1,064**	1,340	▲ 275	▲ 20.5
経常利益	1,150	**1,212**	1,378	▲ 165	▲ 12.0
税引前利益	-	**1,100**	1,404	▲ 303	▲ 21.6
純　利　益	800	**565**	989	▲ 424	▲ 42.9
一株当たり純利益（円）	17.40	**12.60**	21.53	-	-

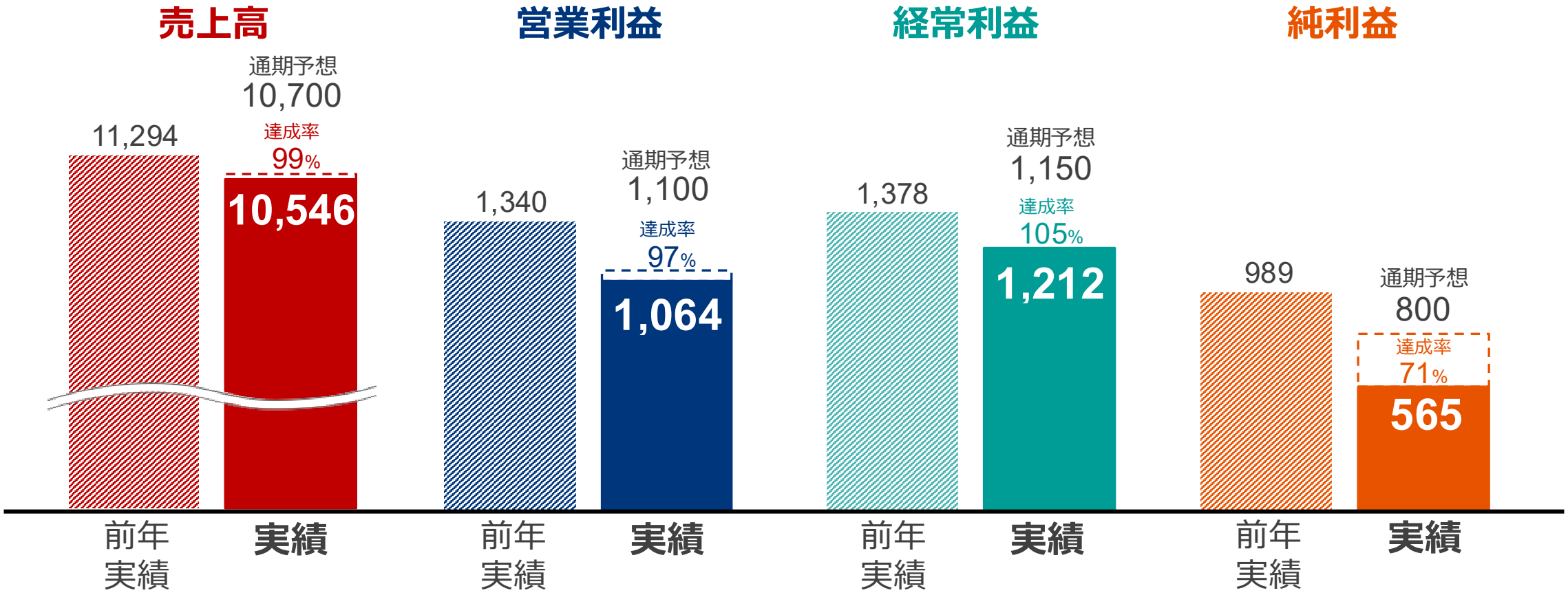
KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

損益計算書　前年・予想比［連結］

■通信機器向けは下期の反動減を新機種採用等で補い、電子部品製造工程向けや産業機器向けの堅調さもあり概ね計画通りに進捗。一方、輸送機器向けやバッテリー関連の低迷が下振れ要因となりました。純利益は減損損失の計上により予想を下回りました。

単位：百万円

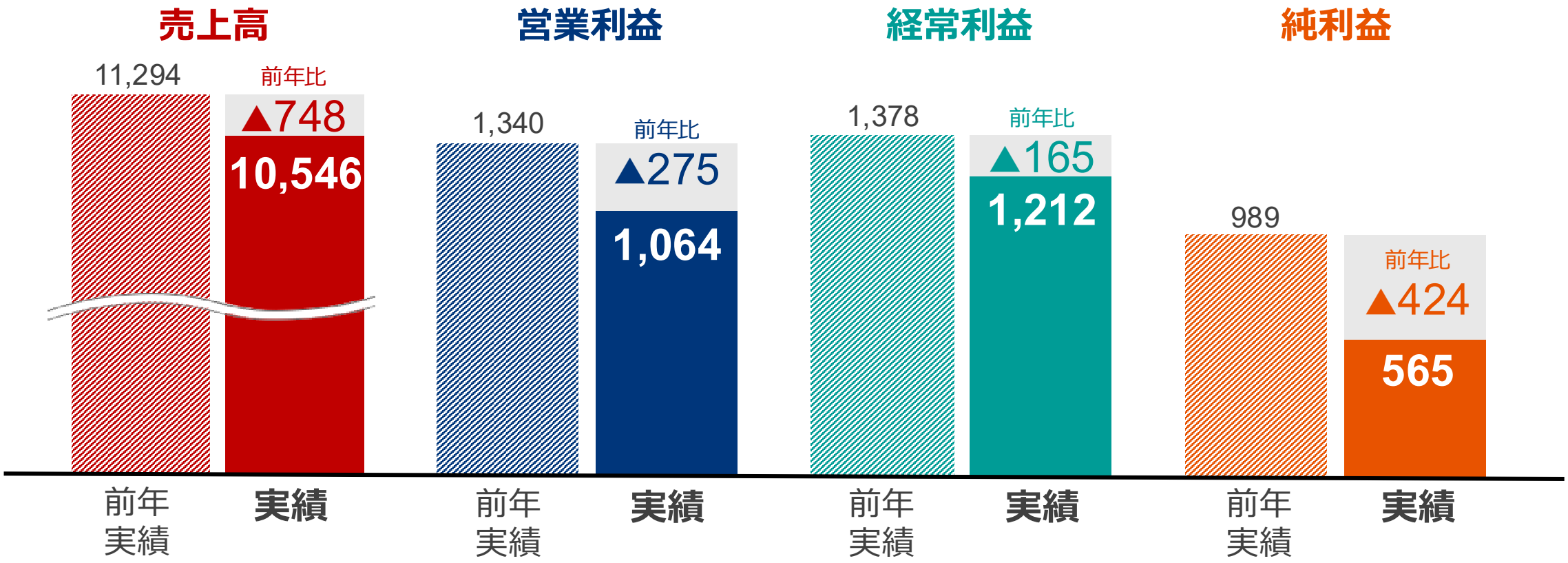


Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

損益計算書　前年比・主な変動要因［連結］

■前期比では、自動車生産低迷に伴う輸送機器向けやバッテリー関連の販売不振に加え、高収益製品の減少や米国の稼働率低下も影響し減収減益となりました。一方、通信機器向けや産業機器向けは堅調に推移し下支えとなりました。

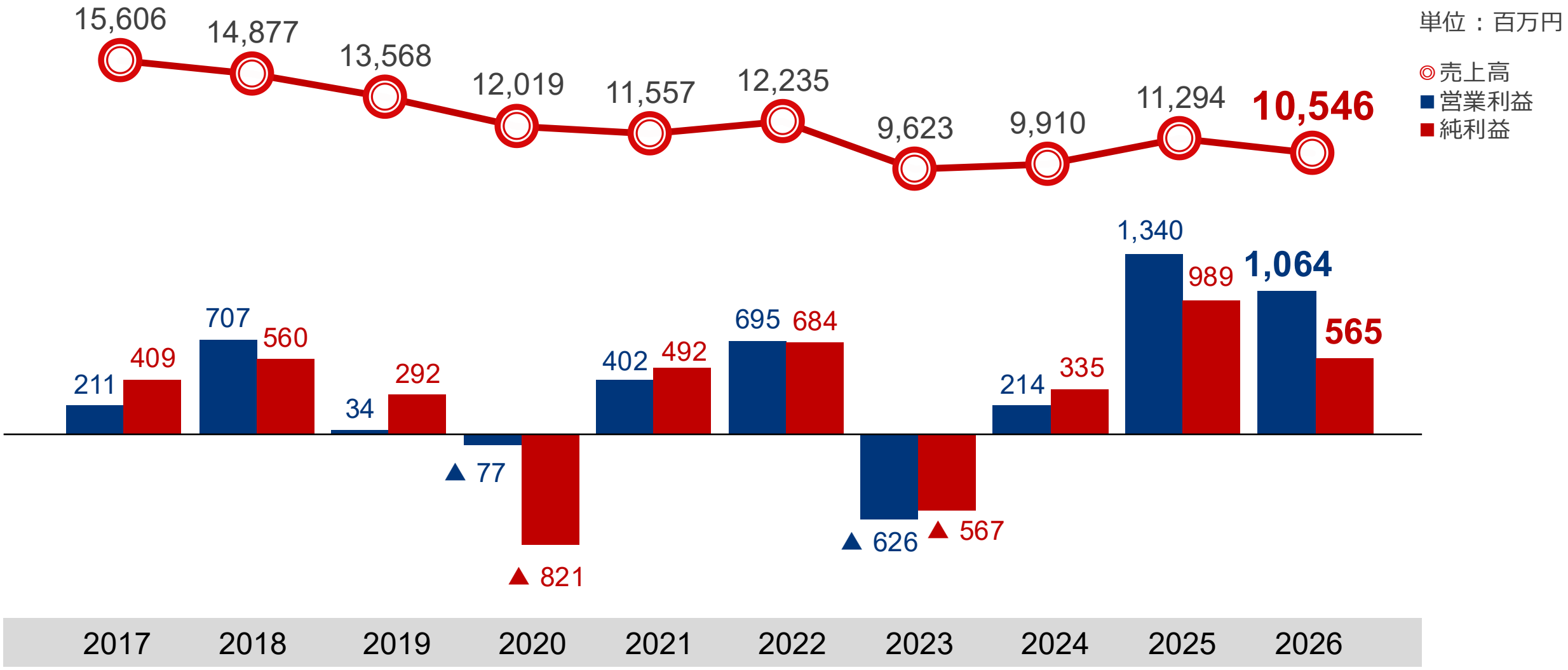
単位：百万円



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

売上高・営業利益・純利益［連結］

2017年３月期～2026年３月期 比較



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

KIMOTOグループ業績

単位：百万円

		日本	アメリカ	スイス	中国
売上高	2026年３月期	9,948 5% DOWN	541 37% DOWN	476 35% DOWN	124 22% DOWN
	2025年３月期	10,491	862	733	160
営業利益	2026年３月期	1,395	▲262	▲24	▲61
	2025年３月期	1,446	▲139	52	▲27

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

KIMOTOグループトピックス

日本

通信機器向けは上期集中の反動で下期は低調見込みでしたが、新規案件の獲得もあり通期で収益に貢献。電子部品製造工程向けも堅調に推移しました。輸送機器向けは自動車市況の低迷で不振となり、バッテリー関連も見込みを下回りましたが、産業機器向けが順調に推移し全体を下支えしました。

アメリカ

市場環境の影響や新規案件の失注で生産量が減少する中、販売構成の見直しや新規顧客の開拓を進め、収益改善に取り組んでいます。

スイス

自動車産業や白物家電の低迷により厳しい事業環境が続きましたが、新規案件の立ち上げや市場開拓を進め、収益の改善を図っていきます。

中国

LiDARやBIM関連の受注減が続いているものの、3Dモデル作成技術の開発を進め、売上・利益への貢献を図るとともに、将来の競争力強化につながる取り組みを推進しています。

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】売上構成

単位：百万円

	2025年３月期	構成比	2026年３月期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	10,098	96.3%	**9,590**	**96.4%**	▲ 508	▲ 5.0%
通信機器	4,230	40.3%	**4,141**	**41.6%**	▲ 89	▲ 2.1%
輸送機器	2,210	21.1%	**1,968**	**19.8%**	▲ 241	▲ 10.9%
産業機器	1,289	12.3%	**1,579**	**15.9%**	289	22.5%
その他	2,368	22.6%	**1,900**	**19.1%**	▲ 467	▲ 19.7%
デジタルツイン事業	392	3.7%	**358**	**3.6%**	▲ 34	▲ 8.8%
3D	175	1.7%	**171**	**1.7%**	▲ 4	▲ 2.4%
2D	86	0.8%	**102**	**1.0%**	15	18.2%
コンサルティング	16	0.2%	**22**	**0.2%**	6	36.0%
その他	114	1.1%	**61**	**0.6%**	▲ 52	▲ 45.9%

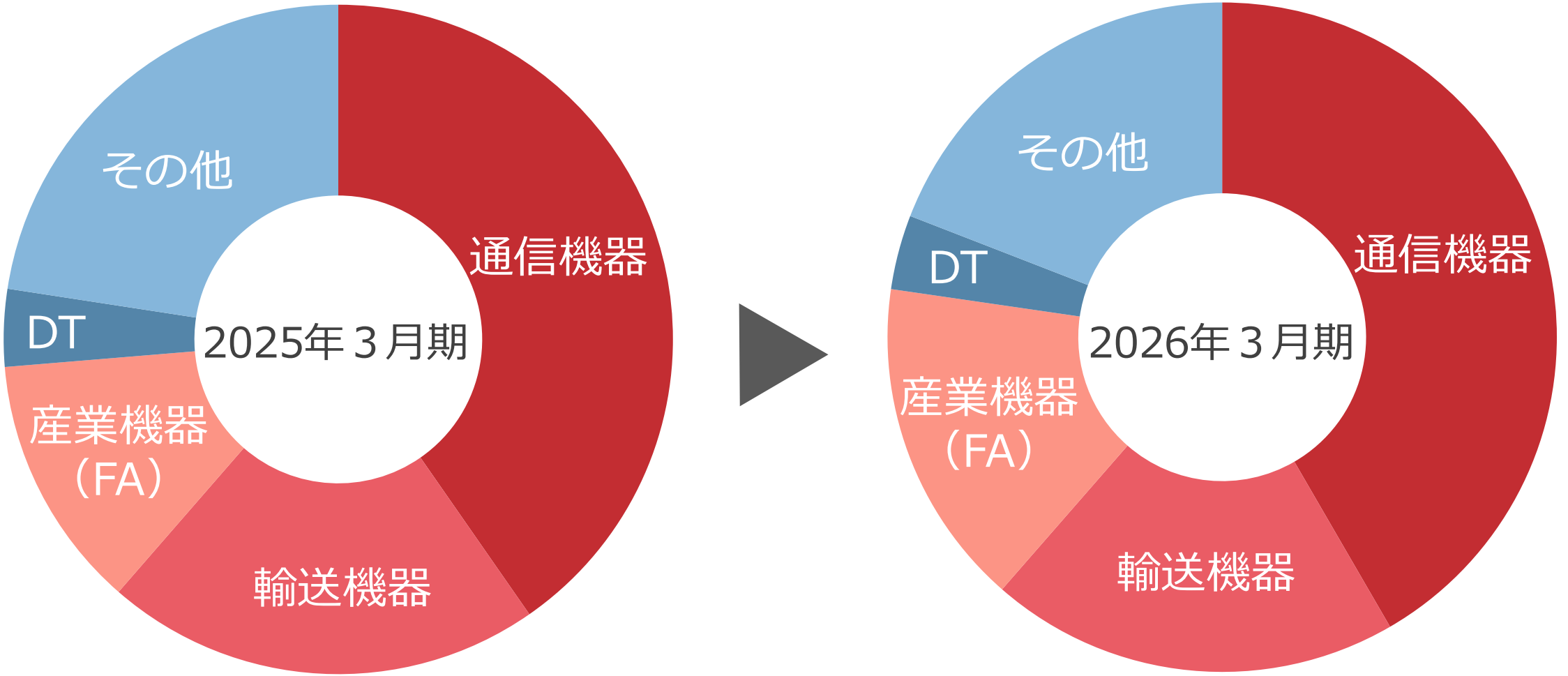
※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】売上構成

■通信機器向けは年間を通じて収益に貢献し、産業機器向けも順調に推移し、売上を下支えしました。
輸送機器向けは自動車市況の低迷で不振となりました。



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【アメリカ】売上構成

単位：百万円

	2025年３月期	構成比	2026年３月期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	862	100.0%	**541**	**100.0%**	▲ 320	▲ 37.2%
通信機器	159	18.5%	**103**	**19.1%**	▲ 56	▲ 35.2%
輸送機器	279	32.4%	**178**	**32.8%**	▲ 101	▲ 36.2%
その他	423	49.1%	**260**	**48.0%**	▲ 163	▲ 38.6%

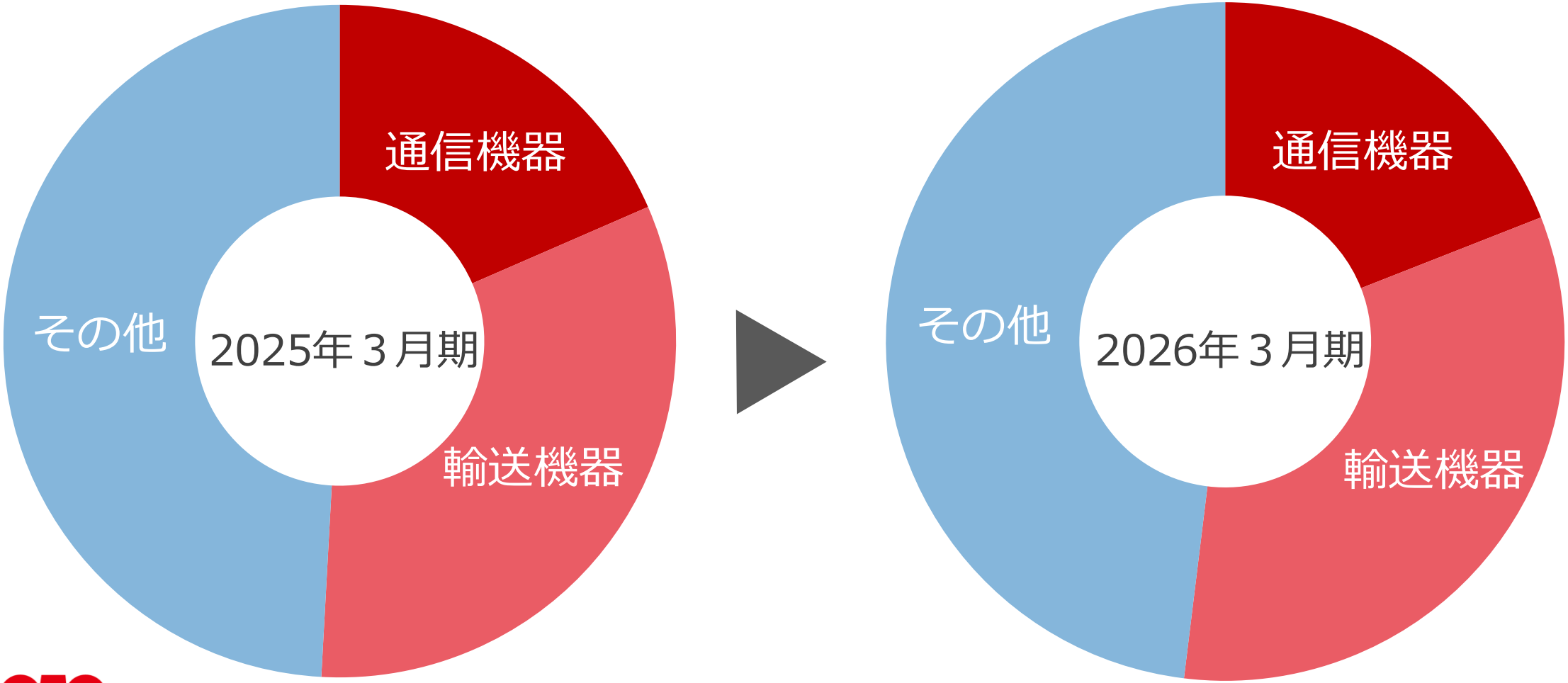
※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【アメリカ】売上構成

■事業環境の不透明感が続く中、新規案件の失注などによる生産量の減少により売上、利益ともに低調に推移しました。



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【スイス】売上構成

単位：百万円

	2025年３月期	構成比	2026年３月期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	733	100.0%	**476**	**100.0%**	▲ 257	▲ 35.1%
通信機器	98	13.4%	**88**	**18.6%**	▲ 9	▲ 10.1%
輸送機器	332	45.3%	**162**	**34.0%**	▲ 170	▲ 51.2%
その他	302	41.2%	**225**	**47.4%**	▲ 76	▲ 25.4%

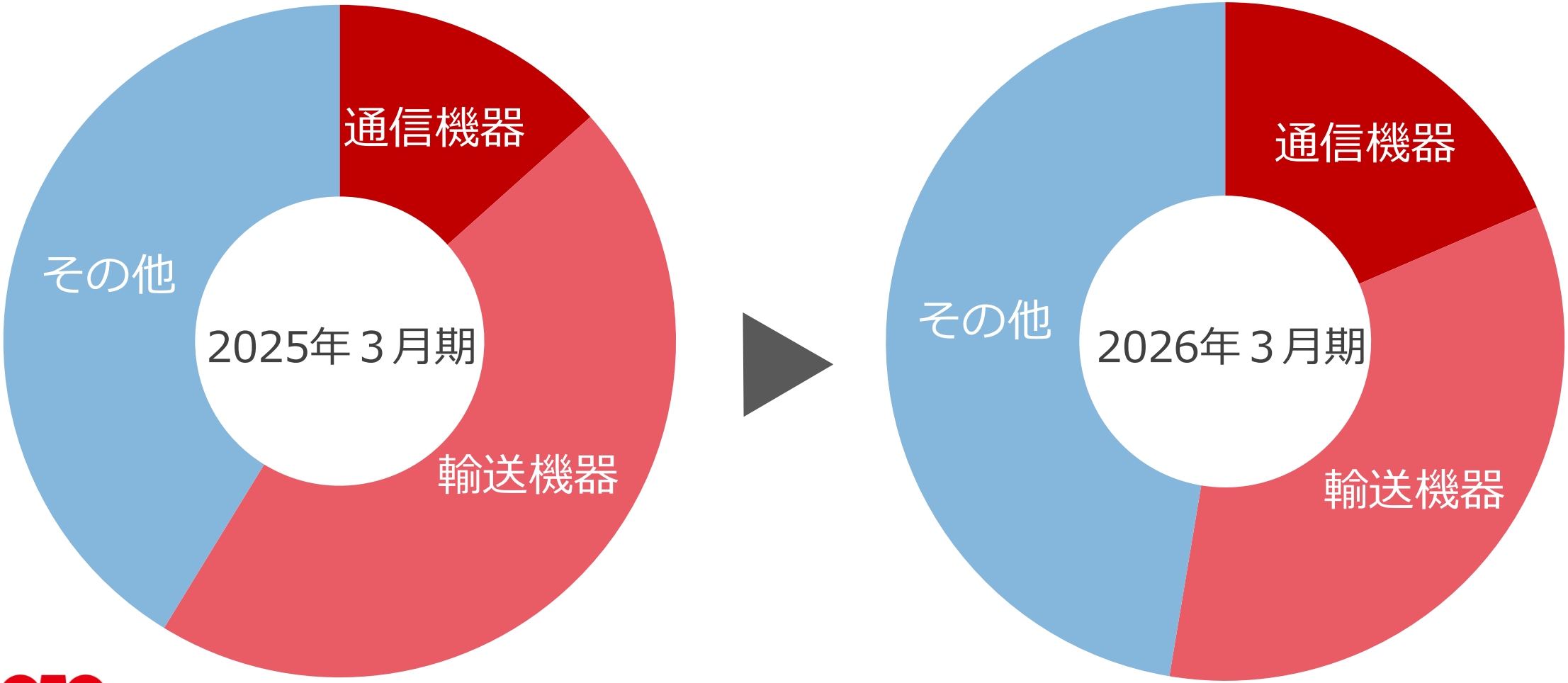
※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【スイス】売上構成

■自動車産業および白物家電の低迷により、売上減少となりました。



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【中国】売上構成

単位：百万円

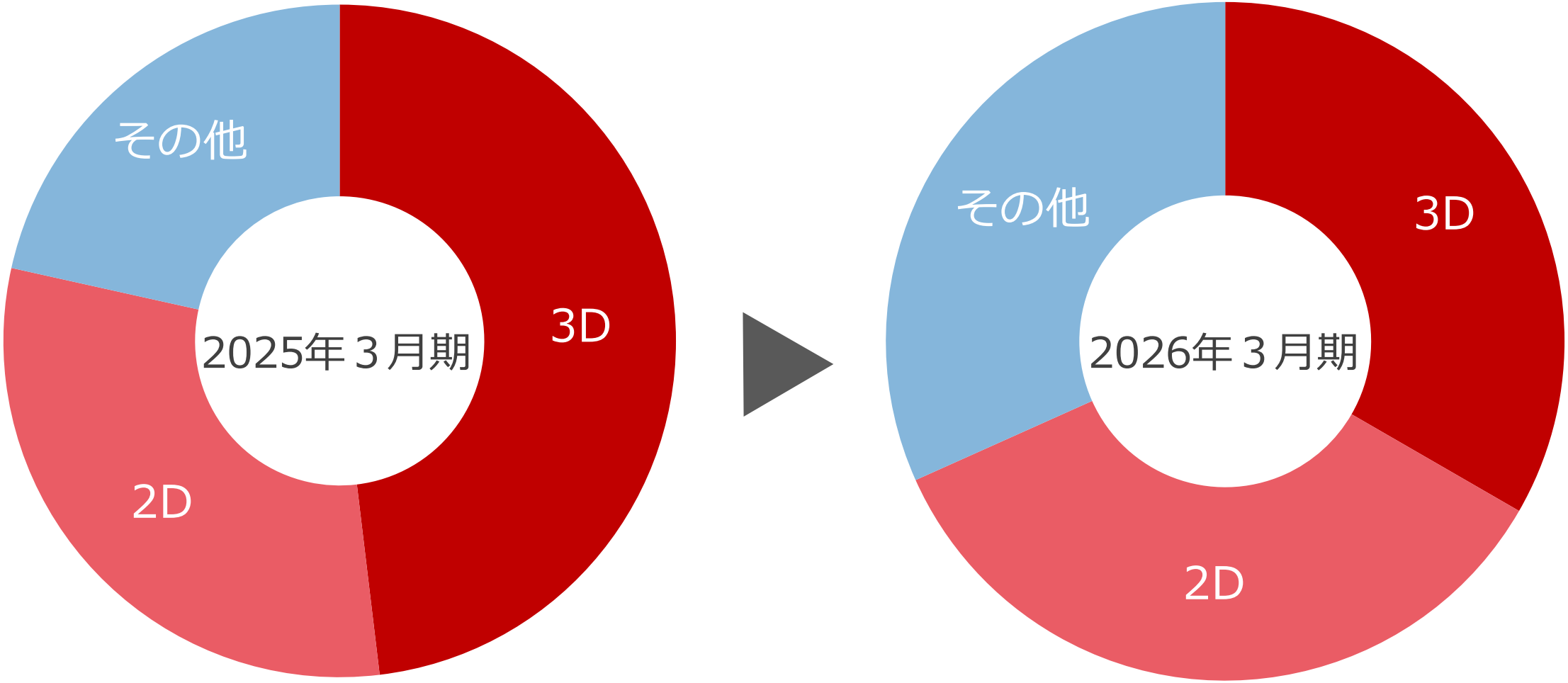
	2025年３月期	構成比	2026年３月期	構成比	増減	増減率(%)
デジタルツイン事業	160	100.0%	**124**	**100.0%**	▲ 35	▲ 22.4%
3D	76	48.1%	**41**	**33.4%**	▲ 35	▲ 46.1%
2D	48	30.3%	**43**	**35.2%**	▲ 4	▲ 10.0%
その他	34	21.6%	**39**	**31.4%**	4	12.8%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【中国】売上構成

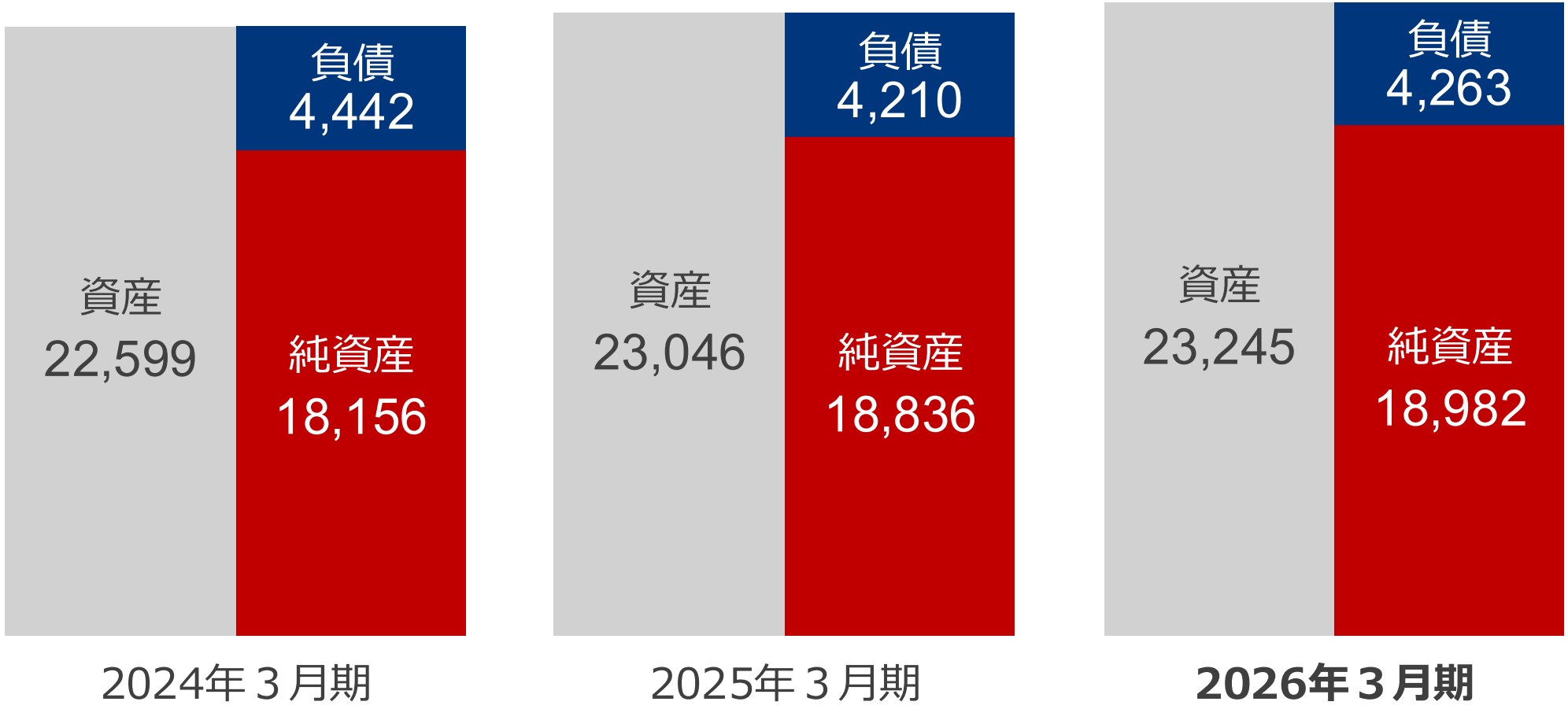
■LiDARおよびBIM関連案件の受注減少が続き、売上、利益ともに低調に推移しました。



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

貸借対照表［連結］

2024年３月期～2026年３月期 比較



単位：百万円

2024年３月期　2025年３月期　**2026年３月期**

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

2026年３月期 貸借対照表［連結］ 主な変動要因

単位：百万円

資産

対前期末比
199

長期預金
1,565

投資有価証券
175

建物及び構築物（純額）
139

負債

対前期末比
52

資産除去債務
338

繰延税金負債
151

電子記録債務
▲400

純資産

対前期末比
146

為替換算調整勘定
246

利益剰余金
204

自己株式の取得
▲386

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

1　2026年３月期 決算について

2　高機能材料事業

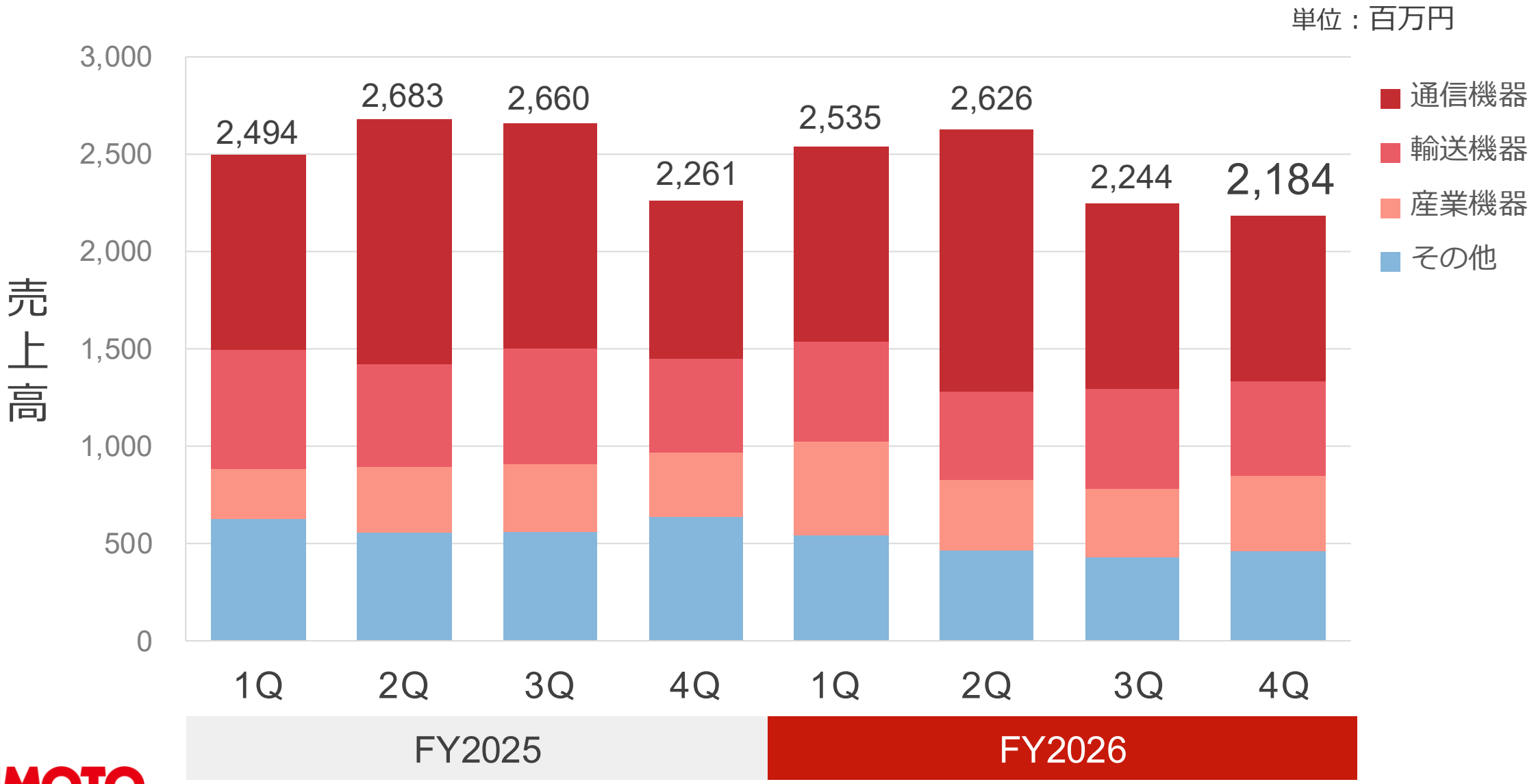
3　デジタルツイン事業

4　第６次中期経営計画進捗

5　会社概要

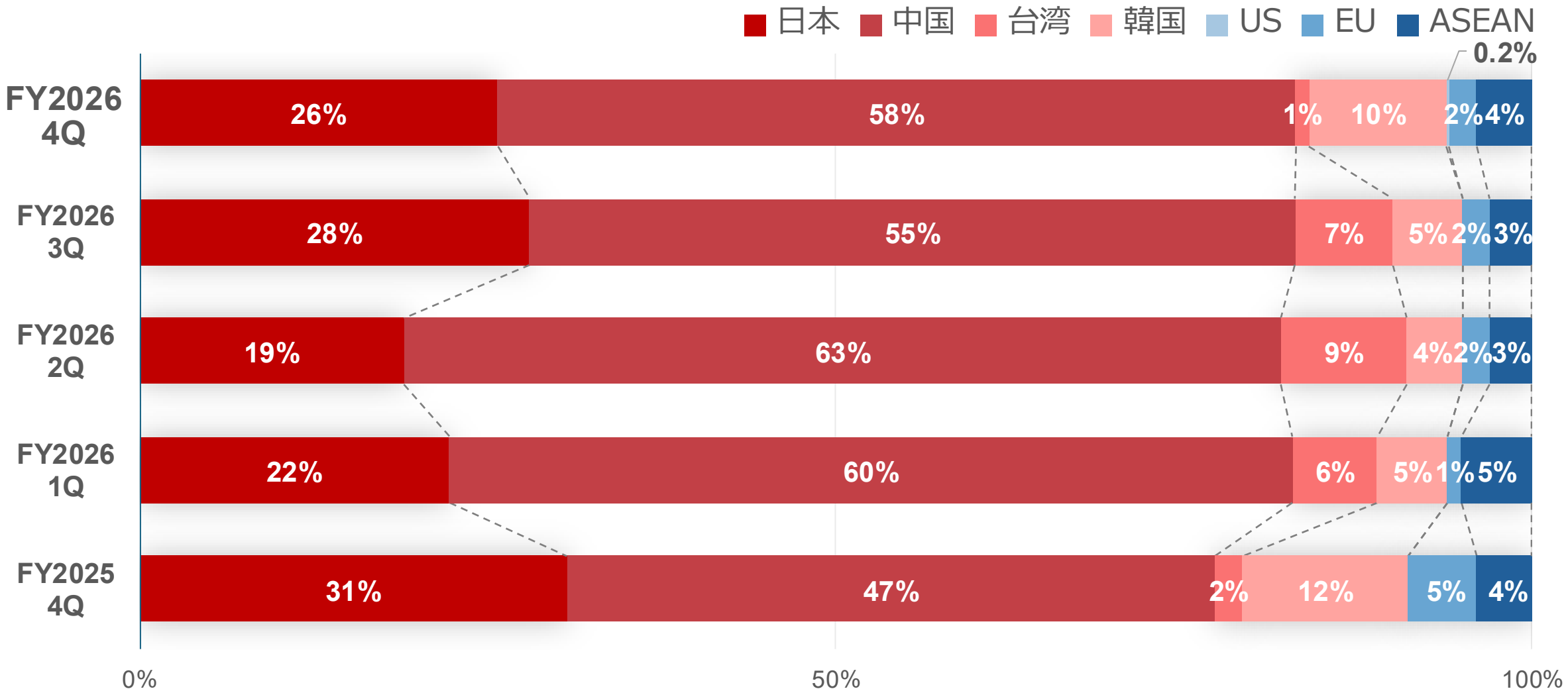
Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】売上推移（四半期）



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】通信機器 エリア別 主要製品 売上構成※

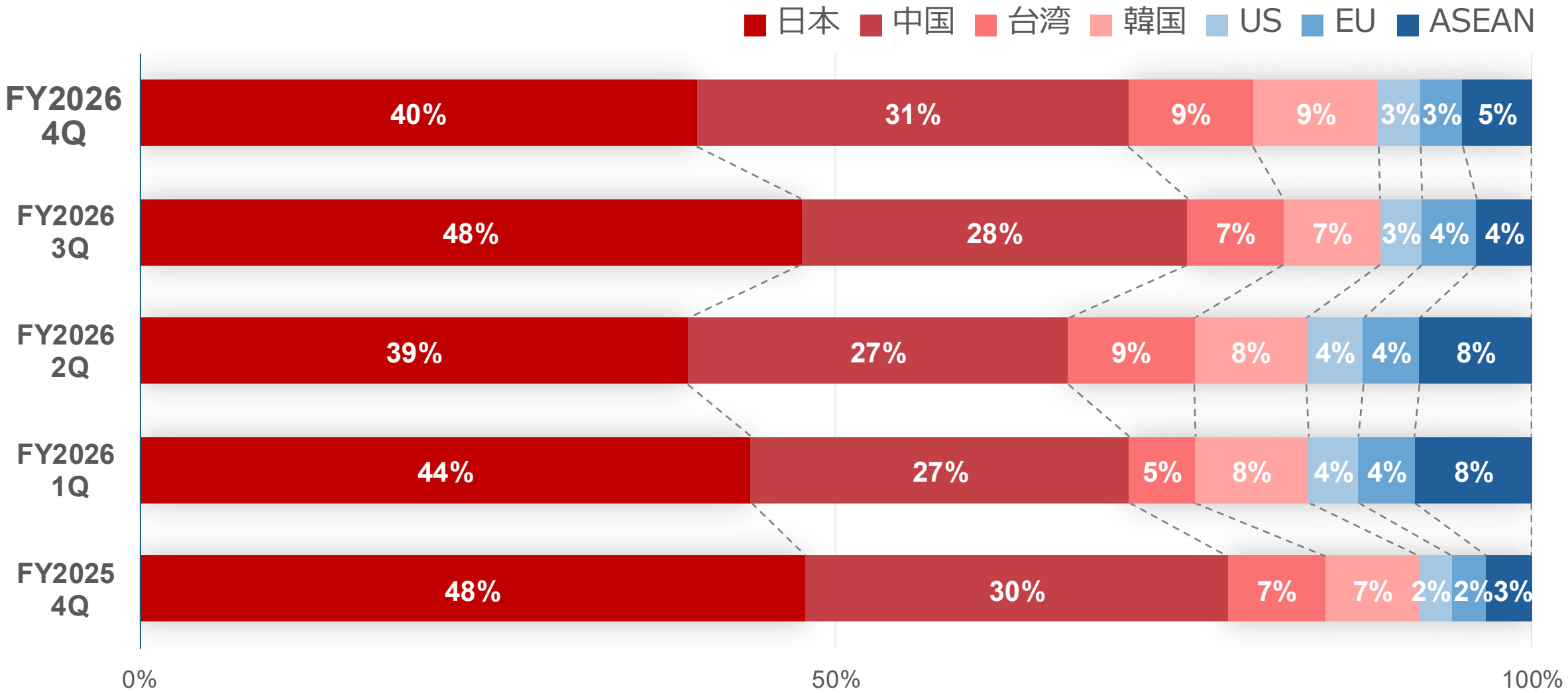


※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート、サンドブラスト

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

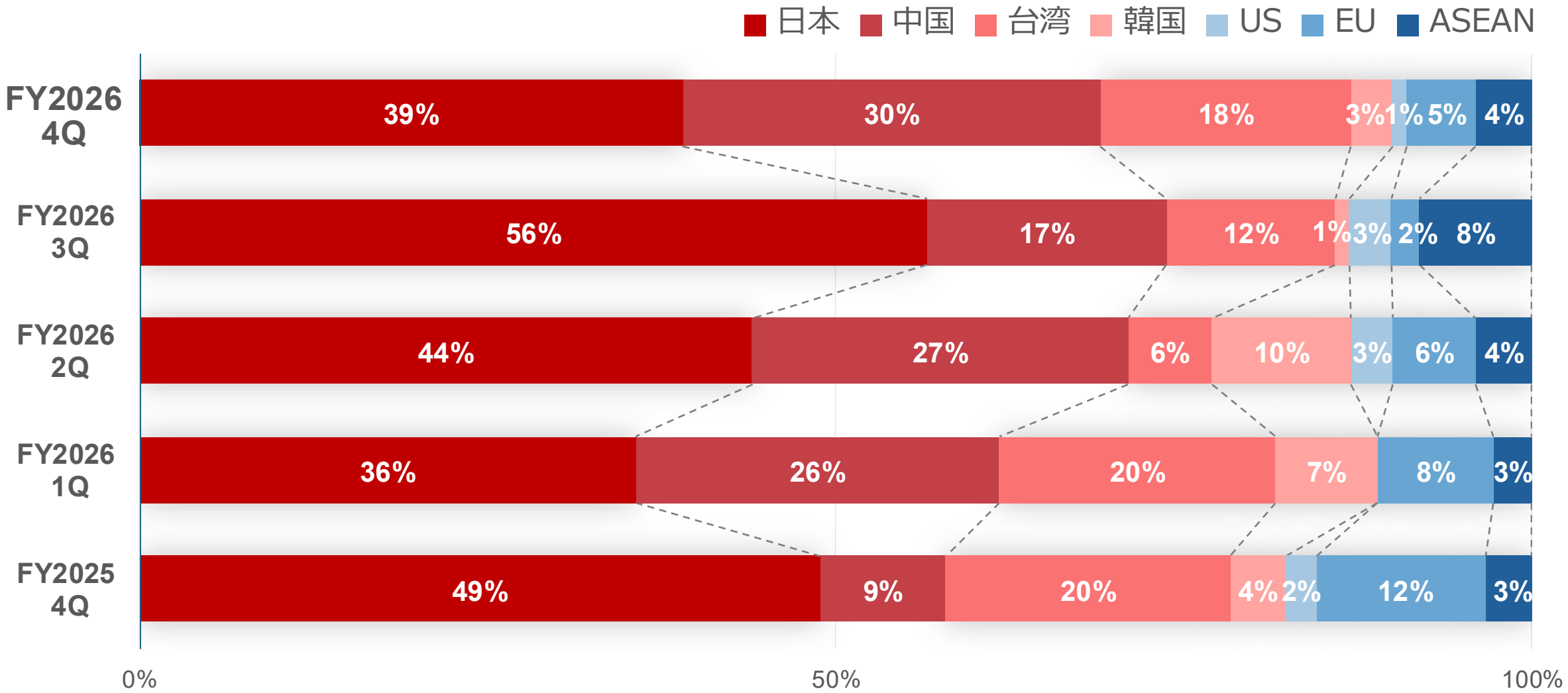
【日本】輸送機器 エリア別 主要製品 売上構成※



※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート、サンドブラスト

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】産業機器 エリア別 主要製品 売上構成※



※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート、サンドブラスト

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

1　2026年３月期 決算について

2　高機能材料事業

3　デジタルツイン事業

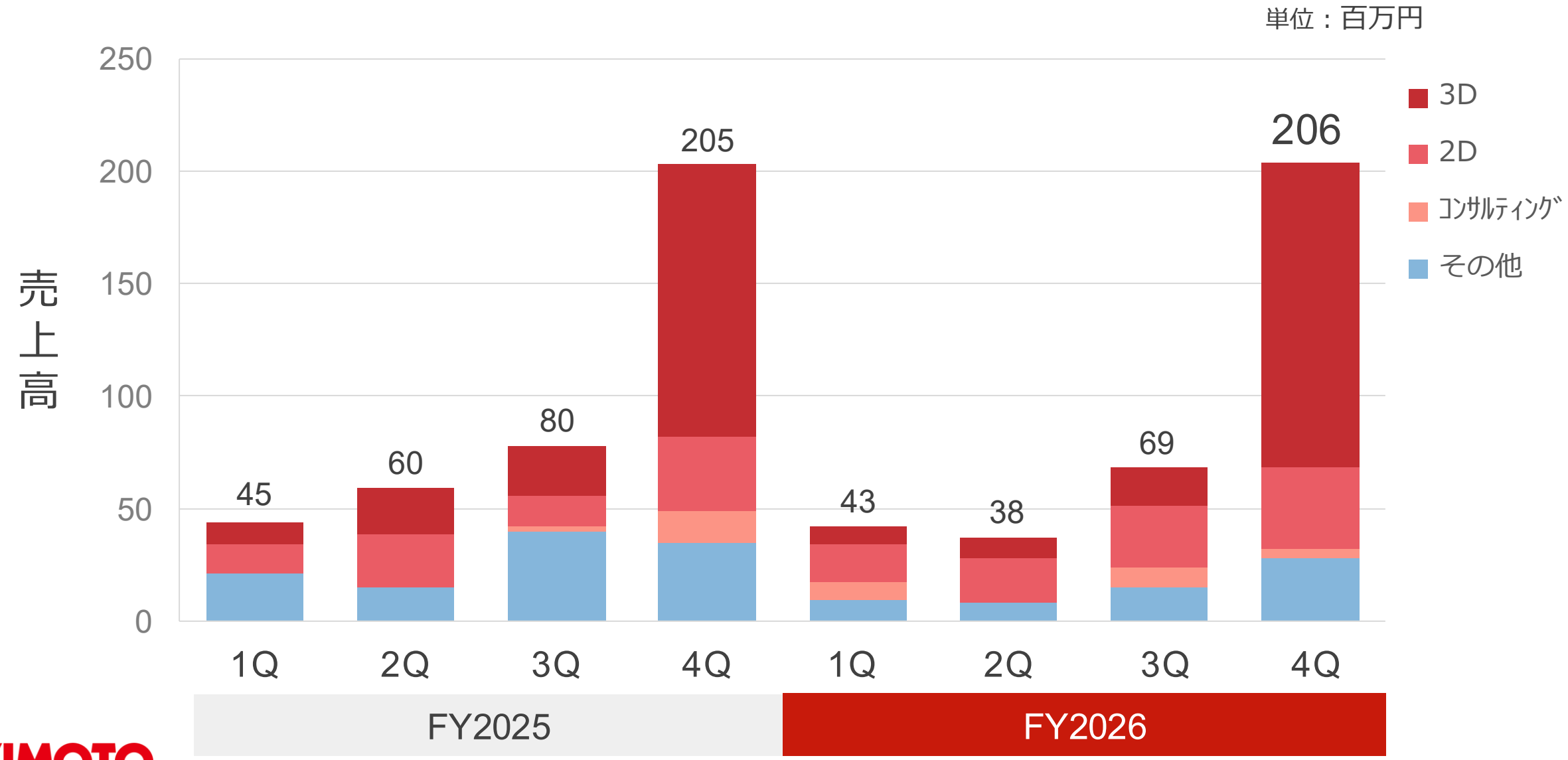
4　第６次中期経営計画進捗

5　会社概要

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】デジタルツイン事業売上推移（四半期）

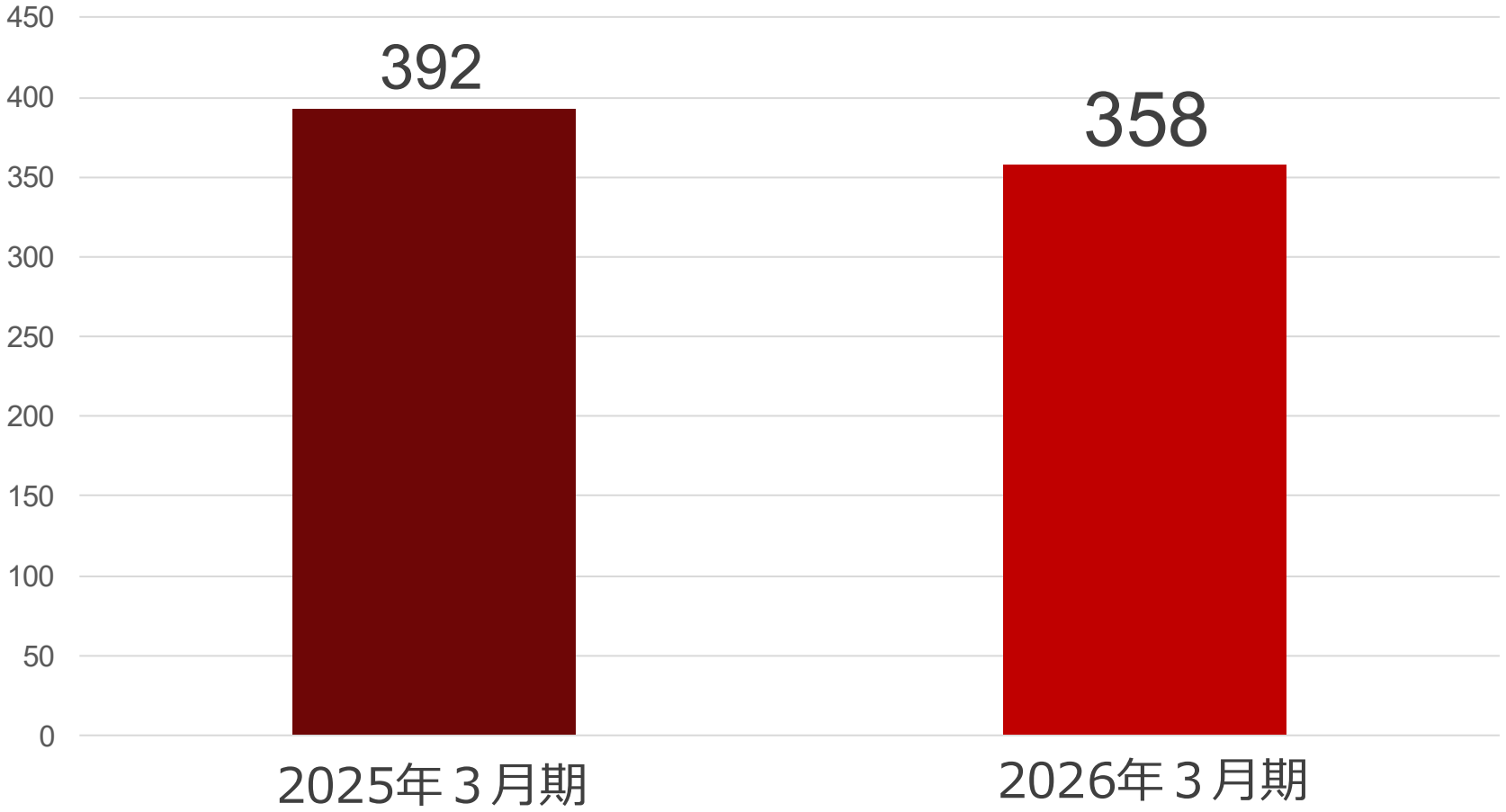


Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】デジタルツイン事業売上高

■ 建設分野における3D空間データ作成サービス「SPLAT TWIN」やインフラ分野が伸長した一方、BIM/CIM案件の減少により、売上は前年を下回りました。

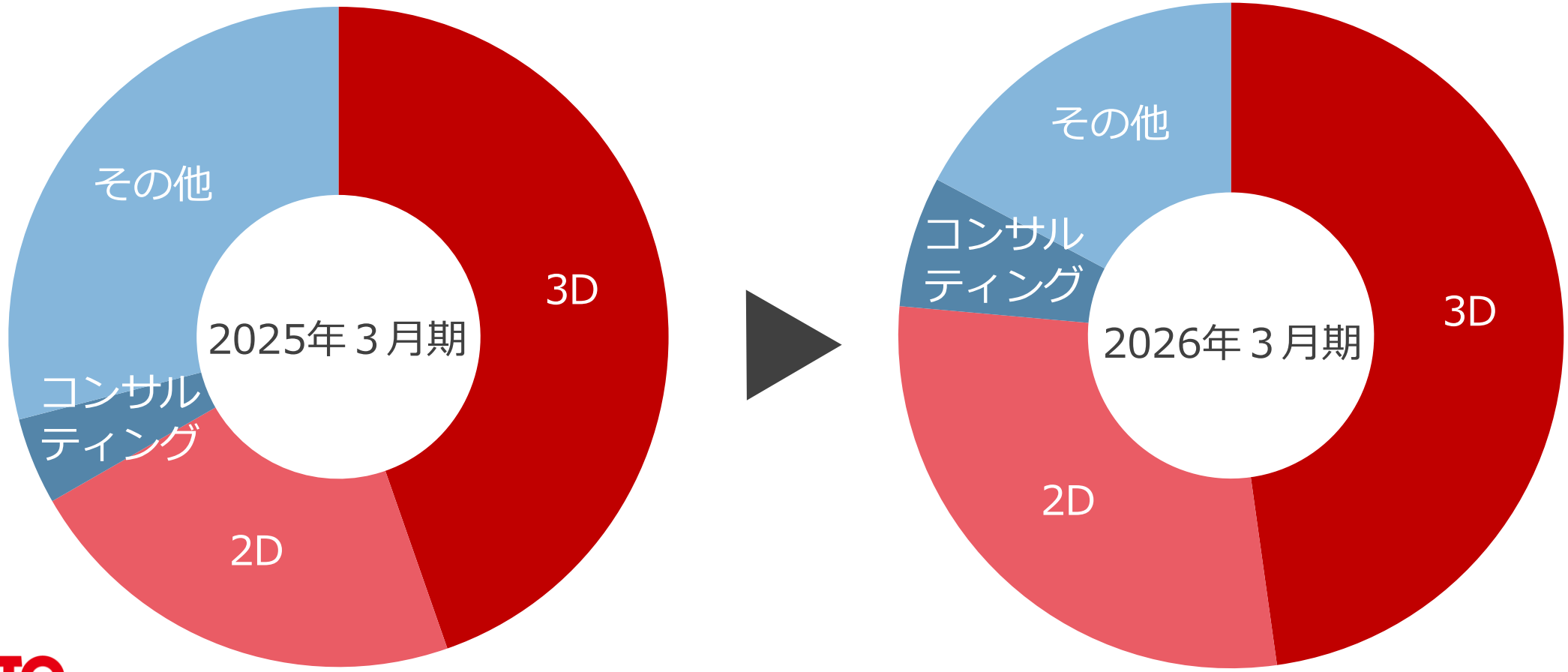
単位：百万円



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】デジタルツイン事業売上高構成

■建設分野における3D空間データ作成サービス「SPLAT TWIN」の受注継続や大型案件獲得に加え、インフラ分野における大型案件の獲得により売上に貢献しました。



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

1　2026年３月期 決算について

2　高機能材料事業

3　デジタルツイン事業

4　第６次中期経営計画進捗

5　会社概要

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

2026年３月期の進捗

事業成長

・デジタルツイン事業　2028年３月期売上高 1,000百万円（目標）

3D新サービス「SPLAT TWIN」は受注が継続しており、高い再現性と視覚的な表現力が評価され、建設分野での指名獲得につながっています。大型案件に加え、新規受注も堅調に推移しており、受注拡大と生産体制の強化を両輪で進めてまいります。
また、コンサルティングにおいても製造業DXでの新規案件が伸長しております。

・環境対応　2028年３月期CO2排出量 65%減※（目標）※2013年度比

生産インフラの更新を進めるとともに、エネルギー使用量の可視化により省エネ分析を強化いたしました。今後は、エコ生産計画および歩留向上による運用改善にも取り組んでまいります。

・技術本部　2028年３月期新製品※ 寄与率12%（目標）※発売から３年以内の製品

新たなフォローアップ体制のもと、開発・工場間の連携強化と要件定義の精度向上を図っています。あわせて人材育成・技術伝承に加え、MIツール（Materials Informatics）の導入やロボティクスの検討など、開発基盤の高度化・効率化を進めています。

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

2026年３月期の進捗

企業マネジメント

・IT・DX戦略

全社へのAI導入を完了し、業務への活用を深めるとともに、基幹システムの強化に向けた取り組みを進めております。第67期は新たな組織編成のもと、グループ全体での本格的な生産性向上および業務改革に着手しており、今後の実行フェーズに向けた推進基盤を整備しております。

・人材戦略

本年４月より、新人事制度の本格運用を開始いたしました。これにより、個々の能力や適性を尊重し、活躍を促す評価・処遇の明確化や柔軟で公平性の高い人材マネジメントの実現を進めております。また、海外拠点を含めた次世代リーダー育成に向けたグローバル研修を実施し、第二弾のプログラムにも着手しております。IT・DX育成においては、キャリアサポートを開始し、社員一人ひとりの自律的な学びと持続的な成長を後押しするための環境整備に取り組んでおります。

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

第６次中期経営計画 資料および動画のご案内

▶ 資料PDFはこちらから

https://www.kimoto.co.jp/application/files/9117/5015/1736/20262028.pdf

▶ 動画のご視聴はこちらから

https://www.kimoto.co.jp/investor/news_20250523

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

1　2026年３月期 決算について

2　高機能材料事業

3　デジタルツイン事業

4　第６次中期経営計画進捗

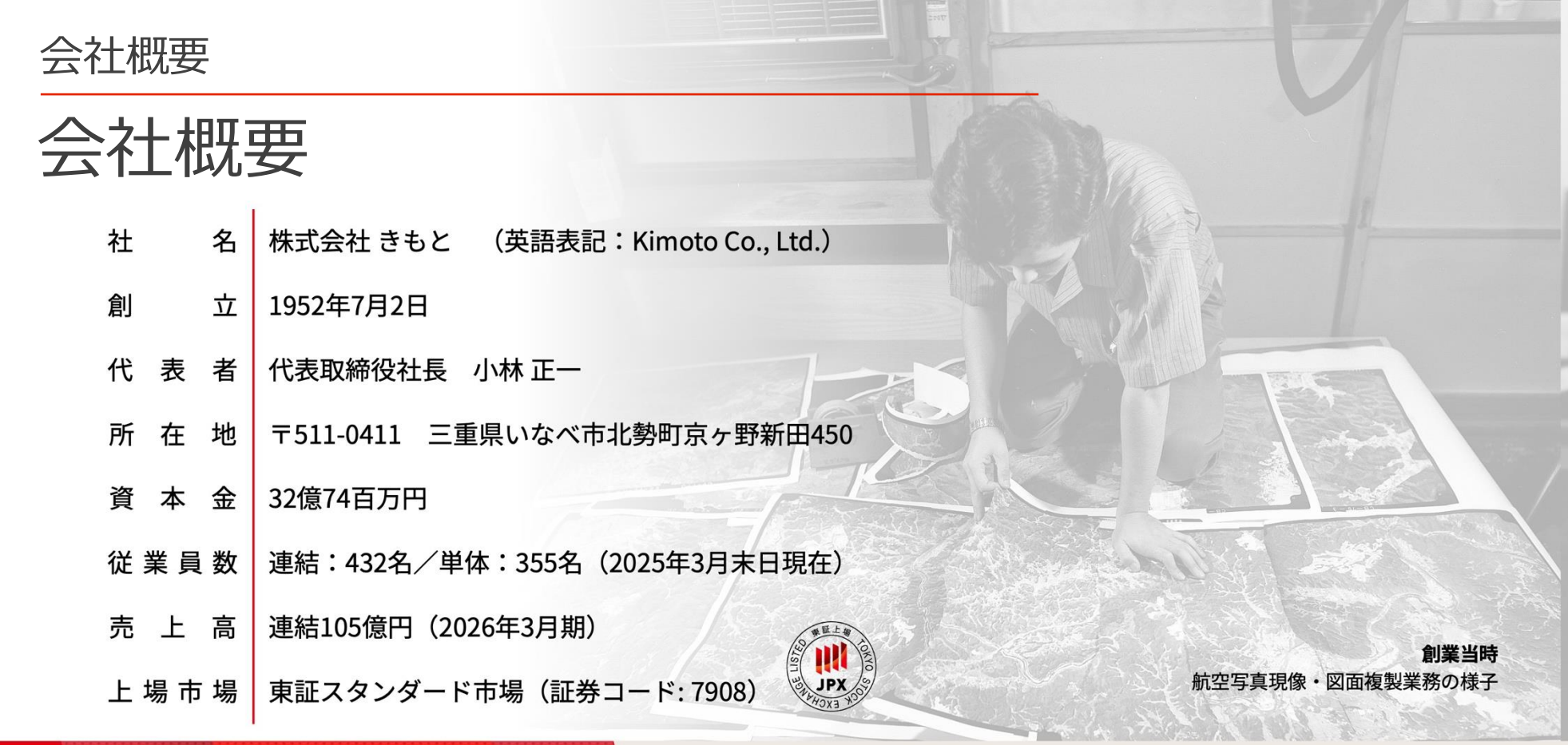
5　会社概要

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

会社概要

社　　名	株式会社 きもと　（英語表記：Kimoto Co., Ltd.）
創　　立	1952年7月2日
代 表 者	代表取締役社長　小林 正一
所 在 地	〒511-0411　三重県いなべ市北勢町京ヶ野新田450
資 本 金	32億74百万円
従業員数	連結：432名／単体：355名（2025年3月末日現在）
売 上 高	連結105億円（2026年3月期）
上場市場	東証スタンダード市場（証券コード: 7908）



創業当時
航空写真現像・図面複製業務の様子

創業社長
木本 氏仁

おかげさまで
数々の賞と選定を
いただいております

共働き共育て Work Style Diversity 2024
令和5年度 Nextなでしこ
共働き・共育て支援企業
（経済産業省選定）

NIKKEI Smart Work ★★★½ 2026
日経サステナブル総合調査
スマートワーク経営編 3.5つ星
（日本経済新聞社）

NIKKEI Smart Work Awards 2025 中堅企業部門
日経サステナブル総合調査に
基づくスマートワーク経営に
優れた企業として選出
（日本経済新聞社）

- 建設事業関係功労者等
  国土交通大臣表彰
- 日本国土調査測量協会より
  国土交通大臣表彰を受賞

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

沿革

2024 技術開発を三重工場へ移管

2024 本店移転（三重県いなべ市）

2021 株主総会早期化

2017 アメリカと日本に少量塗工機を新設

2013 本店移転（埼玉県さいたま市）

2011 三重県いなべ市で地域貢献の一環として「きもとファーム」プロジェクトをスタート

2009 働き方改革スタート

2006 東京証券取引所第一部指定

1991 中国に「瀋陽木本數据有限公司」設立（現・データセンター）

1985 アメリカに製造工場「KIMOTO TECH,INC.」設立

1979 三重県員弁郡北勢町（現：いなべ市）に三重工場建設

1974 スイスに販売会社「KIMOTO AG」設立

1969 茨城県総和町（現：古河市）に茨城工場建設

1967 「株式会社きもと」に商号変更

1955 湿度伸縮や経年劣化に強い「AKケント紙」を販売

1952 「有限会社きもと商会」創立

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

国内・海外拠点

国内主要拠点

海外主要拠点

リモート拠点

国内 *Japan*

三重県／三重工場

コーティングマシン

塗工幅	MAX 1,600mm
塗膜厚み	0.5μm～40μm

Clean Class
作業エリア Class 1,000 ／ コーティングマシンエリア Class 1,000 ／ コーティングヘッドClass 100

茨城県／茨城工場

サンドブラストマシン

加工幅	MAX 1,300mm
加工厚み	25μm～350μm
加工粗さ	0.3μm～0.8μm

少量塗工機「APOLO」

塗工幅	MAX 300mm
基材	PET、アクリル、TAC、PC
塗工	ダイ、グラビア、バー

海外 *Overseas*

アメリカ／ジョージア州

コーティングマシン「Line2」

塗工幅	MAX 1,550mm
塗膜厚み	MAX 100μm
塗工	ダイ、グラビア、バー

少量塗工機「LC3」

塗工幅	MAX 770mm
基材	PET、アクリル、TAC、PC
塗工	ダイ、グラビア、バー

中国／瀋陽

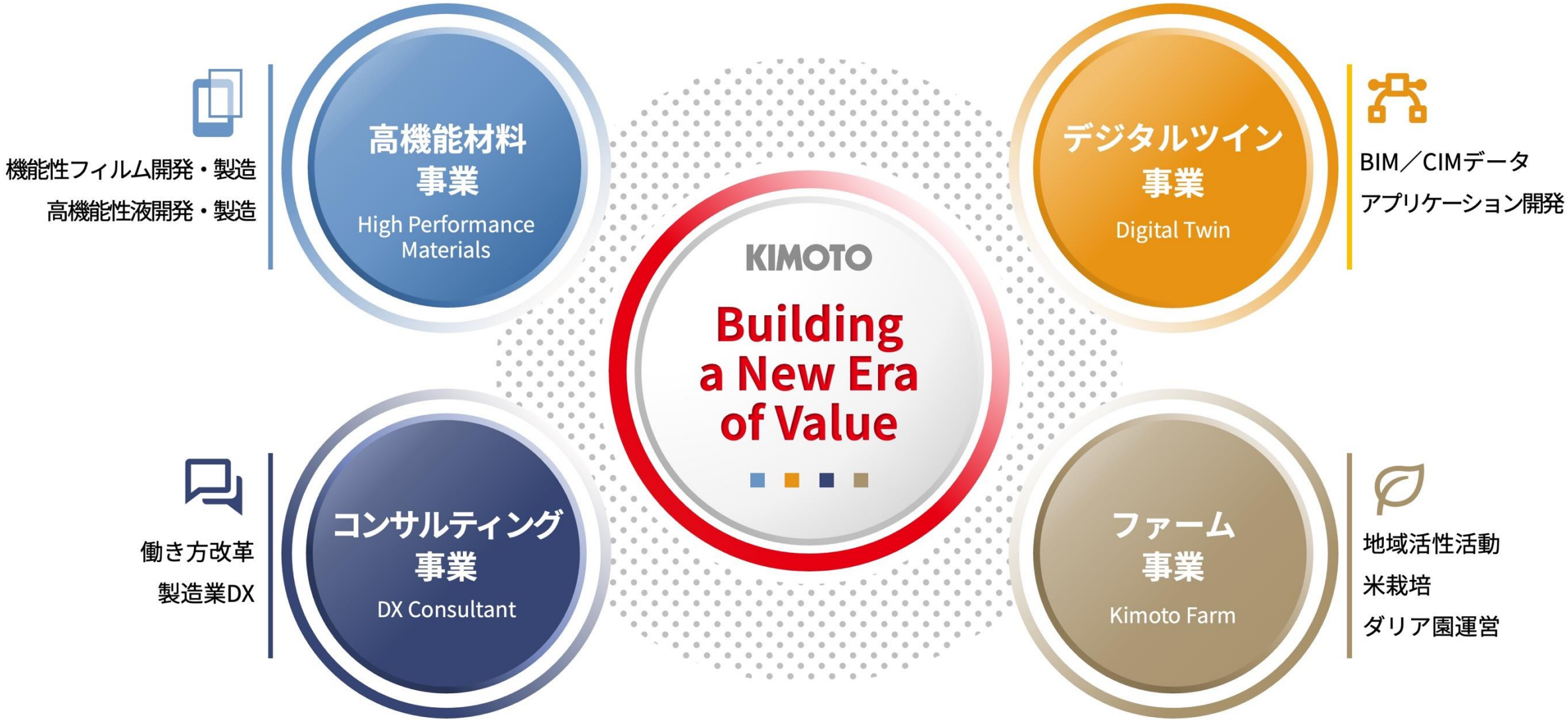
データセンター

BIM/CIMデータ作成
3Dデータ作成
製造業DX向けデータ作成
アプリケーション開発

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

事業内容



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

KIMOTO

つながる“すべてのモノ”が環境にやさしくあるために
私たちのノウハウで貢献する未来

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものであります。
実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果となる可能性がございます。

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved